

新たな一歩

～テープ式おむつ外しを試みて～

特別養護老人ホーム 羽衣の園
介護スタッフ 東海林のリ子
斉藤 優香

取り組んだきっかけ…

M様…男性 85歳 介護度4

日中はリハビリパンツ、夜間はオムツで対応していた

・排尿がパット内に収まっているため、オムツがもったいないと感じた

・トイレの訴えもあった為、リハビリパンツの方が便利

現在:昼夜リハビリパンツで対応

T様…男性 99歳 介護度4

昼夜オムツで対応していた

・かゆみの訴えがあり、引っ掻きすぎて皮ムケが出来てしまうほどであった

↓
かゆみが軽減され、便意の訴えも出てきた

昼夜リハビリパンツ対応となる

H様…女性 87歳 介護度3

日中リハビリパンツ、夜間オムツで対応していた

・夜間、放尿、オムツ外しあり

現在：日中は布パンツ
夜間はリハビリパンツで対応

オムツ外しをした結果

- 利用者様に対して、「もっと出来ることがあるのではないか。」と考えるようになった。
- 出来ない事を問題視するのではなく、出来る事に視点を置くようになった。

他の方への応用


N様・・・女性 94歳 介護度3

<入居時>
昼夜ポータブルトイレ使用
車椅子での生活

<半年後>
昼夜ポータブルトイレ外し
共有トイレ使用



<8ヶ月後>
リビングでは車椅子から
椅子へ移るようになった



<5ヵ月後>
車椅子を離れ、シルバーカーでの歩行

↓
生活の範囲が広がった




スタッフの想い

テープ式オムツ「O」の継続
残存機能の維持と向上に努力する



